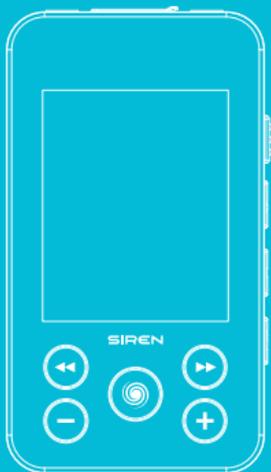




DP350

Digital Audio Player

取扱説明書



最新のカラー版取扱説明書は、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] にアップロードされています。

目次

安全上のご注意	iii	基本の操作	20
絵表示について	iii	音楽を聴く(基本)	20
安全上のご注意	iv	準備	20
はじめに	1	再生の基本操作	21
ご使用の前に	2	再生の応用操作	22
パッケージ内容の確認	2	音楽を聴く(応用)	23
充電について	3	カテゴリーに分けて音楽を聴く	23
パソコンを使つての充電	3	区間リピートの設定	24
各部の名称と動作	5	プレイリストの作成	25
各部の名称	5	メインメニューについて	29
各部の動作	6	メニューを選ぶには	30
表示部	12	FM ラジオを聴く	31
再生時表示	12	FM 放送を聴く	31
FM ラジオ表示	13	よく聴く局を登録する(プリセット)	33
録音時表示	13	自動でプリセットを行う	
メニュー表示	14	(オートプリセット)	34
準備	15	プリセットした局を聴く	35
パソコンとの接続と切り離し	15	プリセットした局を削除する	36
接続	15	動画を見る	37
切り離し(Windows 2000/XP/Vista の		写真を見る	39
場合)	16	録音する	41
CD からの録音方法	18	録音の方法	41
		ライン入力の接続方法	44
		録音データを再生する	45

商標と著作権

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④ 当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保障期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

応用の操作.....	46	その他.....	70
設定を変更するには.....	46	故障かなと思ったら.....	70
セッティングメニューの操作.....	47	本機のリセット方法.....	71
再生モード.....	48	サポートセンターへの	
イコライザー.....	49	お問い合わせ方法.....	72
輝度.....	50	最新情報について.....	73
バックライトタイマー.....	51	製品の修理／交換について.....	73
オートオフ.....	52		
言語設定.....	53		
時間設定.....	54		
セッティングメニューを初期状態に			
戻す.....	55		
フォーマット.....	56		
録音の設定を変更する.....	57		
録音設定の変更方法.....	57		
録音設定について.....	58		
ナビ機能を使う.....	60		
ホールド機能について.....	62		
間違ってキーを押さないために.....	62		
ファームウェアのアップグレードに			
ついて.....	63		
ファームウェアのアップグレードの			
準備.....	63		
ファームウェアのアップグレード			
方法.....	65		
ファームウェアのバージョンを			
確認.....	69		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

■ 絵表示について ■

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

安全上のご注意

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け



水場での使用
禁止



接触禁止

警告

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



水濡れ禁止



電源プラグを
コンセントから
抜け



分解禁止

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- イヤホンやスピーカーなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 再生する前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。



はじめに

まず、はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」取扱説明書」をよくお読みください。

本製品の特長

- MP3/WMA (DRM 対応)/OGG および WAV ファイル、AAC (M4A 形式)の再生が可能*1
- Windows Media Technology DRM10 対応*2
- ID-3 タグ (ID3 V.1、ID3 V.2 対応)をサポート
- 日本語と英語表示に対応
- FM チューナー機能、20 プリセットチャンネル
- FM 録音
- 内蔵マイク、音声録音
- ダイレクトエンコーディングライン入力録音
- 1.8 インチ TFT カラー液晶
- USB2.0 対応
- 6種類のプリセットイコライザー機能
- WMV および AVI の動画再生が可能
- JPEG および BMP の写真データの再生が可能
- 内蔵リチウムポリマー充電電池を使用し、約 18 時間の連続再生が可能
- バッテリー残量表示
- 対応 OS : Windows 2000、XP、Vista

- 本体の寸法は (突起物を含まず) (mm) : 41 (W) × 73.2 (H) × 14.6 (D)
- 重量 : 約 46g (内蔵バッテリーを含む)
- ファームウェアのアップグレード
 - ◆ 最新のファームウェアは SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] からダウンロードしてください
 - ◆ ファームウェアのアップグレードをする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップ保存してください

*1 AAC は iTunes にて作成した M4A に限ります。iTunes の対応 OS 環境は、Windows Me/2000 を除く、Windows 2000 SP4 以降となります。

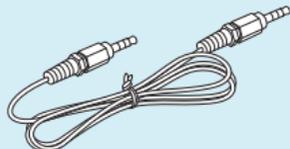
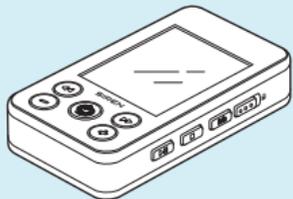
*2 Windows Media Technology DRM10 については、DRM10 対応のすべての音楽配信サービスの動作を保証するものではありません。

ご使用の前に

▶ パッケージ内容の確認

- 重要** ● お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、当社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DP350 デジタルオーディオプレーヤー ● ライン入力ケーブル



- USB ケーブル (パソコン接続用)



- ステレオイヤホン



- ネックストラップ



- 取扱説明書 (本書)
● クイックガイド
● 保証書
● 録音方法ガイド

▶ 充電について

- 重要** ● お買い求めになられた製品は充電されておりません。お使いになる前に必ず充電を行ってください。

▶ パソコンを使つての充電

- 1 本機の接続端子と付属の USB ケーブル (パソコン接続用) を接続します。
 - 2 接続した USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
 - が表示され、電池の残量表示バーが右から左に移動します。
 - 3 表示部の が右から左へ移動することを確かめてください。
 - 充電開始より約 3 時間前後で 表示になります。また、初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電を開始するまでに数分かかる場合があります。開始後約 5 時間ほど充電してください。
 - 4 「パソコンとの接続と切り離し」(P.15 ~ P.17) を参考にして、本機をパソコンから取り外してください。
 - 表示は消え、一旦電源を切った状態になり、再度電源が入ります。
-

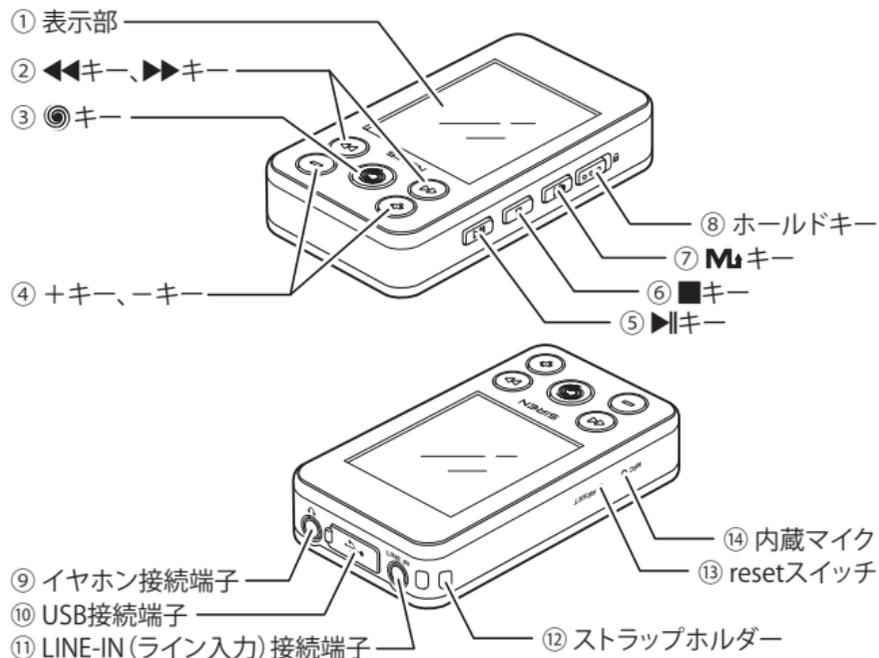
ヒント

- パソコンと USB ケーブルを接続する場合、パソコンによっては USB 端子の向きが逆の場合があります。USB ケーブルのコネクタが入らない場合は無理に挿入せず、逆向きに挿入してください。
- 「バックライトタイマー」の設定をしていると、充電中に LCD のバックライトは不灯します。バックライトを点灯させたい場合は、本機のいずれかのキーを押すと、点灯します。

※充電用 AC アダプター (別売) での充電中も、内の残量表示バーが移動します。

各部の名称と動作

各部の名称



各部の動作

各メニュー時の操作によりこれらのキーの機能が異なるキーもありますので、各メニュー操作の説明をご覧ください。

① 表示部

曲名やアーティスト名などが表示されます。(P.12)
選曲や設定のためのメニューが表示されます。(P.14)

② ◀◀ キー、▶▶ キー

◆ 音楽再生時

▶▶ キーを押すと、次のデータファイル番号の曲に移ります。
◀◀ キーを押すと、前のデータファイル番号の曲に移ります。
▶▶ キーを押し続けると、曲の早送りができます。
◀◀ キーを押し続けると、曲の早戻しができます。
曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

◆ 動画再生時

▶▶ キーを押すと、次のデータファイル番号へ移動します。
◀◀ キーを押すと、前のデータファイル番号へ移動します。
▶▶ キーを押し続けると、動画の早送りができます。
◀◀ キーを押し続けると、動画の早戻しができます。

◆ FM ラジオモード時

▶▶ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が上がります。
◀◀ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が下がります。
▶▶ キーを押し続けると、周波数の高い局を自動的に検索します。
◀◀ キーを押し続けると、周波数の低い局を自動的に検索します。

◆ 録音データ再生時

▶▶ キーを押すと、次の録音データファイル番号に移ります。
◀◀ キーを押すと、前の録音データファイル番号に移ります。
▶▶ キーを押し続けると、録音データの早送りができます。
◀◀ キーを押し続けると、録音データの早戻しができます。
録音データの早送り、早戻しは、録音データの停止中でも行えます。

◆ 写真データ再生時

▶▶ キーを押すと、次の写真データファイル番号に移ります。
◀◀ キーを押すと、前の写真データファイル番号に移ります。

◆ ファイル名、各メニュー表示時

これらのキーを押して、表示されている音楽データなどのファイル名や各メニューの項目・設定値を選びます。

③  キー

このキーを押し選んだ曲や動画、項目を決定します。決定された曲や動画は再生が始まります。

- ◆ 音楽再生モード、録音データ再生時
音楽再生中または録音データ再生中に押すと「A-B 区間リピート」の設定ができます。
- ◆ FM ラジオモード時
このキーを長く押すと FM ラジオメニューが表示されます。

④ + キー、- キー

- ◆ 音楽再生、FM ラジオ、動画、録音データ再生時
+ キーを押すと、音量が大きくなります。
- キーを押すと、音量が小さくなります。
+ キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
- キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。

⑤  キー

このキーを押すと、電源が入ります。

- ◆ 音楽再生時
このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。
- ◆ 動画再生時
このキーを押すと、動画の再生・一時停止を行います。
- ◆ 録音時
このキーを押すと、録音の一時停止・一時停止解除を行います。
- ◆ 録音データ再生時
このキーを押すと、録音データの再生・一時停止を行います。

⑥  キー

このキーを押し続けると、電源が切れます。

- ◆ 音楽再生時
このキーを押すと、曲の再生が停止します。
- ◆ 録音時
このキーを押すと、録音を停止し、録音メニューに戻ります。
- ◆ 録音データ再生時
このキーを押すと、録音データの再生が停止します。

⑦ M キー

このキーを押すと、選択しているモードのメニュー表示になります。(P.14)
このキーを押す度に1つ上のメニューが表示されます。
メインメニューが表示されている時に、このキーを押すと、元のメニューが表示されます。

⑧ ホールド(🔒)キー

このキーを右側にスライドさせると、全てのキー操作ができなくなります。

⑨ イヤホン接続端子

この端子にイヤホンを接続します。

⑩ USB ケーブル接続端子

パソコンと接続する場合は、この端子にUSBケーブルを接続します。
別売りのACアダプターを利用して充電する場合は、USBケーブルを接続します。

⑪ LINE-IN (ライン入力) 接続端子

ライン入力録音を行うときは、LINE入力ケーブルを接続します。

⑫ ストラップホルダー

この部分に、付属のネックストラップを通して使います。

⑬ reset (リセット) スイッチ

本機が動かなくなったときには、このスイッチをゼムクリップなどで押し
てリセットを行ってください。設定などが初期設定になります。
本機が動かなくなったときに行ってください。

⑭ 内蔵マイク

この部分は、音声の録音(ボイスレコーディング)時にマイクとして使います。

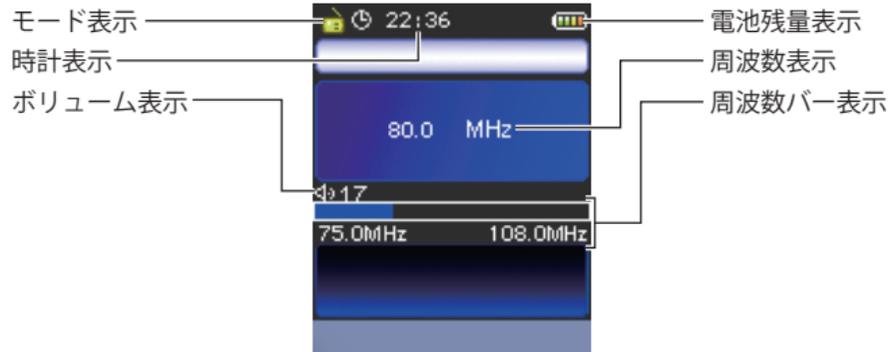
表示部

再生時表示

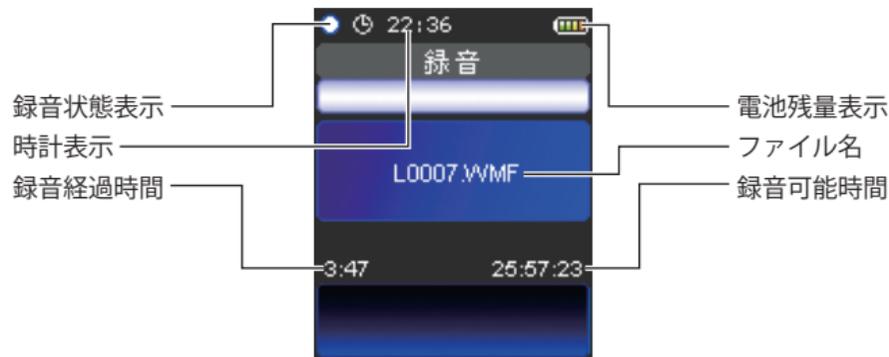


- ヒント** ●再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

FM ラジオ表示



録音時表示

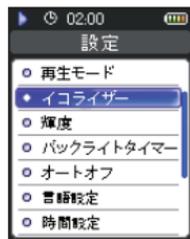


メニュー表示

メインメニューおよび設定メニューを選択した場合は、下図の表示が表示されます。



メインメニュー



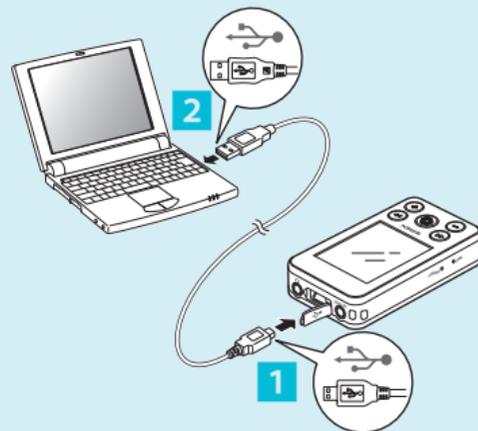
設定メニュー

準備

パソコンとの接続と切り離し

接続

- 1 本機の接続端子と付属 USB ケーブルのミニプラグを接続します。
- 2 付属 USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
- 3 本機の表示が次のようになることを確認します。



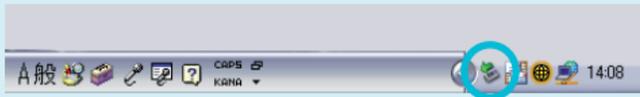
準備

切り離し(Windows 2000/XP/Vista の場合)

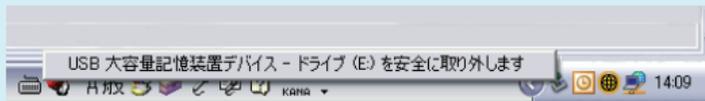
ヒント

クリックマウスの左ボタンを押して、はなす操作です。
ダブルクリックマウスの左ボタンを2回素早く押して、はなす操作です。
右クリックマウスの右ボタンを押して、はなす操作です。

- 1 パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。
 - 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」が表示されます。



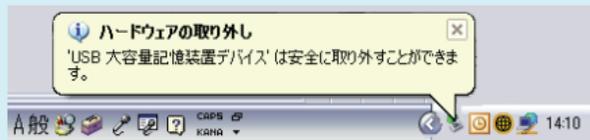
- 2 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」をクリックします。
 - 「ハードウェアの取り外し」が表示されます。



重要

- Windows XP および Vista に接続の場合、本機はポータブルメディアデバイスとして認識しますので、「ハードウェアの安全な取り外し」の表示がされません。「取り外し不可」が表示されている間は、本機をパソコンから取り外さないでください。本機がパソコンとのデータのやり取りを行っていないことを確認してから取り外してください。

- 3 「ハードウェアの取り外し」のXをクリックします。



- 4 本機をパソコンから外します。

ヒント

- パソコンから切り離すと、本機に電源が入ります。
- 手順2にて左クリックするタイミングにより、本機の表示が点灯したままになることがあります。
- 本機は、パソコンから切り離した場合、電源が入りますが、音楽再生画面になるまでに時間がかかる場合があります。

▶ CD からの録音方法

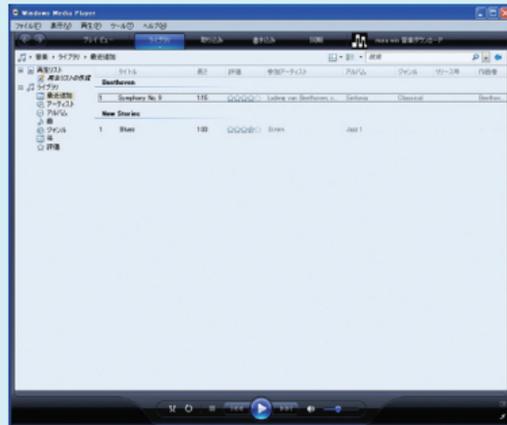
CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み、その後
にその音楽データを本機に同期します。この CD からパソコンへの取り込み
またパソコンから本機への同期を行うときは、Windows に付属されている
Windows Media Player を使います。

-  **ヒント** ● Windows Media Player 9、10 の使い方については、サイレンの
ホームページをご覧ください。

- 1** スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリック
します。



- Windows Media Player 11 を開くと、次のような表示になります。



- Windows Media Player 11 の使い方については、本機に同梱されています「CD
からの録音方法 (Windows Media Player 使用時)」をご覧ください。

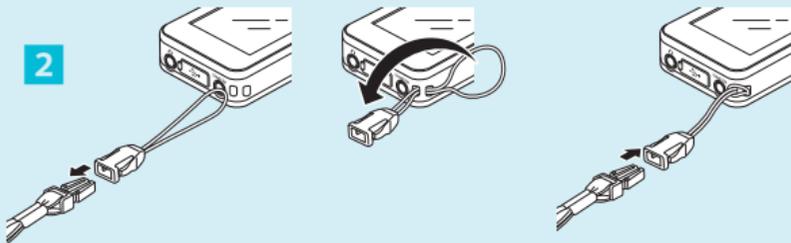
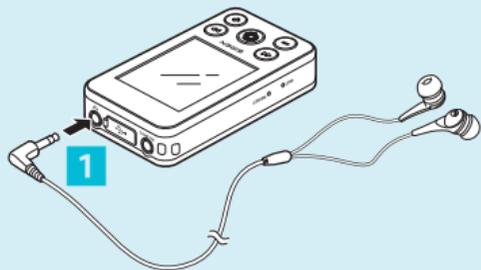
基本の操作

▶ 音楽を聴く(基本)

準備

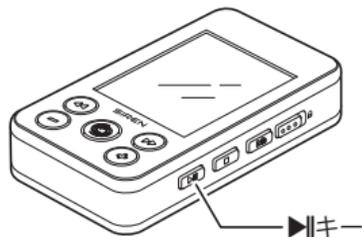
1 付属のイヤホンをイヤホン接続端子に接続します。

2 ネックストラップを下図のようにストラップホルダーに取り付けます。



✓ **注意** ● お使いになるときは、本機が外れて落ちない様にネックストラップを合わせてお使いになることをお勧めいたします。万一、本機を落とされると、故障の原因となることがあります。

再生の基本操作



✓ **注意** ● 曲を再生する前に、-キーを押して音量(ボリューム)は、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

1 ▶||キーを2秒以上押し、電源を入れます。
● 表示部にSIRENのロゴが表示され、その後音楽の再生表示になります。
● ▶||キーを放してから、SIRENのロゴが表示されるまでに約2秒程度かかる場合があります。

2 再度、▶||キーを押し再生します。
● 再生を停止するには、■キーを押します。
● 再生を一時停止するには、▶||キーを押します。

3 電源を切るには、表示が消えるまで■キーを押し続けます。
● 「Power Off」が消える前にキーを離すと、元の状態に戻ります。

🔧 **ヒント** ● 電源を切る前に他のモードにしている場合でも電源を入れ直すと音楽再生モードになります。
● 音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽の位置になります。(タイムレジューム機能)

再生の応用操作

再生時に使うその他のキー

- 1 **▶||** キーを1秒以上押し、電源を入れます。
 - 表示部に SIREN のロゴが表示され、その後曲が再生されます。
- 2 **+** キーまたは **-** キーを押し音量を調整します。
 - **+** キーを押すと、音量が大きくなります。
 - **-** キーを押すと、音量が小さくなります。
 - **+** キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
 - **-** キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 3 **▶▶** キーを押すと、次の曲に移ります。
 - **▶▶** キーを押し続けると、曲の早送りができます。
- 4 **◀◀** キーを1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
 - **◀◀** キーを続けて押すと、前のデータ番号の曲に移ります。
 - **◀◀** キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

 **ヒント** ● 曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

▶ 音楽を聴く(応用)

■ カテゴリーに分けて音楽を聴く

本機では、音楽データの ID3 を使ってアーティスト、アルバム、ジャンル、タイトルのカテゴリーに分けて表示することができます。

- 1 音楽再生モード時に、**M** キーを押します。
 - 次のカテゴリーが表示されます。
「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」「プレイリスト」、「全ての曲」、「音楽再生画面」。



- 2 **◀◀** または **▶▶** キーを押し、カテゴリーを選び **◎** キーを押します。
 - それぞれのカテゴリーで分けられた音楽データが表示されます。
 - 「全ての曲」を選ぶと、本機内すべての音楽データが再生可能になります。
- 3 **◀◀** または **▶▶** キーを押し、音楽データを選び、**◎** キーを押します。
 - 音楽データの再生が始まります。

 **ヒント** ● 同じアーティストでも ID3 の表記が違っていると、別のアーティストとして分けられることがあります。

■ 区間リピートの設定 ■

再生中の曲のお聴きになりたい区間を繰り返し再生できます。

- 1 区間リピートさせたい音楽データを再生します。
- 2 区間リピートをさせたい最初の部分がきた時に、**⏮** キーを短く押します。
 - 表示部には [A] が表示されます。
- 3 区間リピートをさせたい最後の部分がきた時に、再度 **⏮** キーを押します。
 - 表示部は [A-B] となり、設定した区間のみ演奏が繰り返されます。
- 4 区間リピート演奏を解除するには、**⏮** キーを押します。
 - 表示部から区間リピートを示すアイコンが消えます。

- ✓ **注意**
- 区間リピートは、トラック間を越えての設定はできません。区間リピートが設定できるのは、同一のトラック内の設定となります。

■ プレイリストの作成 ■

曲のカテゴリーで表示されるプレイリストは Windows Media Player を使って作成し、本機に同期します。

- 1 本機とパソコンを接続します。
 - 同期が開始されますので、ケーブルを抜かないでください。
- 2 スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。
 - Windows Media Player が開きます。



- 3 上部メニューの「ライブラリ」をクリックし、その後に左端にあるライブラリの中から「曲」や「アルバム」などプレイリストを作成したいものをクリックします。
 - 曲やアルバムなどの一覧が表示されます。

4 表示された曲名やアルバム名などの中からプレイリストに追加したいものを右クリックします。

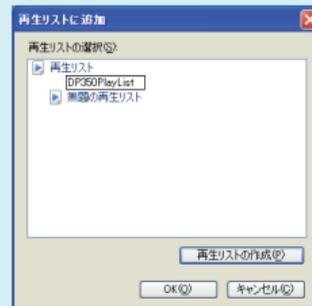
- ポップアップメニューが表示されます。



5 「追加」→「その他の再生リスト」を選びます。

- 「再生リストに追加」のウィンドウが表示されます。

6 「再生リストの作成」をクリックします。



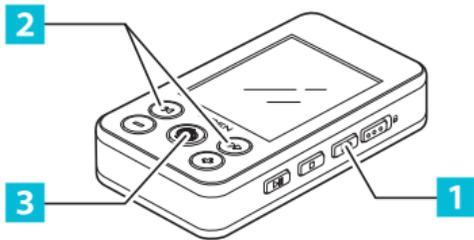
7 青く文字が反転された箇所にプレイリストの名前を付け、「OK」をクリックします。

- 再生リストに新しい名前でプレイリストが追加されました。

8 上部メニューの「同期」をクリックします。



メニューを選ぶには



- 1 メインメニューが表示されるまで、何度か **M** キーを押します。
• **M** キーを押すと、操作している1つ上のメニューに戻ります。
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、モードを選びます。
- 3 ● キーを押します。

FM ラジオを聴く

本機のFMラジオ機能を使って、FM放送をステレオで聴くことができます。また、受信できる局を簡単に予めセットするプリセットモードがあります。プリセットできる局は20局までです。本機の録音機能(P.41)を使って、FM放送をお聴きになりながら、その局を録音することも可能です。

FM 放送を聴く

- ヒント** ● 初めて本機のFMラジオをお使いになるときは、本機は自動でオートプリセットを行い、受信できる局をプリセットしていきます。

- 1 メインメニューにて◀◀または▶▶キーを押し、「FM」を選択します。
- 2 ● キーを押します。



3 ◀◀または▶▶ キーを押すたびに、周波数は 0.1MHz ステップで変わります。

- ◀◀または▶▶ キーを押し続けると、自動的に局の検索を始めるオートスキャンを始めます。局を受信するとオートスキャンは停止します。
- 受信した局に合わせて、音量を調節してください。

4 FM ラジオの設定を変更するには、Ⓞ キーを長押し、FM ラジオメニューを表示させます。

5 FM ラジオモードを終わるには、FM ラジオメニューの「戻る」を選択し、Ⓞ キーを押します。

- 音楽再生モードになります。

📢 重要

- FM 放送を録音する場合でも、イヤホンは接続しておいてください。イヤホンを接続しませんでした、FM ラジオを受信できなくなります。イヤホンがアンテナの役目をしています。従って、FM ラジオを聴く、録音する場合は、必ずイヤホンを接続した状態にしてください。

📎 ヒント

- FM ラジオを選んでいると、自動的に電源が切れることはありません。
- FM ステレオ放送を受信しているときに、電波が弱いと音声がモノラルになることがあります。
- FM ラジオのセッティングメニューにて、**M** キーを押すと FM ラジオの画面に戻ります。また、「戻る」を選ぶと、音楽再生に戻ります。

よく聴く局を登録する(プリセット)

1 「FM 放送を聴く」の手順 1 から 2 を行い、登録したい局に合わせます。

2 Ⓞ キーを長押しします。

- FM ラジオメニューが表示されます。

3 ◀◀または▶▶ キーを押して、「プリセットに登録する」を選び Ⓞ キーを押します。

- プリセット 1 が表示されます。

4 プリセットしたい局の番号を選ぶために、◀◀または▶▶ キーを押します。

- 「周波数 未使用」と表示されている番号は局が登録されていません。
- プリセットできる局は 20 局までです。

5 Ⓞ キーを押します。

- FM ラジオメニューの表示に戻ります。
- 既に使われている番号を選び、Ⓞ キーを押すと選んだ局が上書きされます。

6 手順 3 から 5 を繰り返して、プリセット番号の 20 番まで登録することができます。

7 FM ラジオモードに戻るには、**M** キーを押します。

■ 自動でプリセットを行う(オートプリセット) ■

本機のオートプリセット機能を使うと、自動的に受信できる局を探し出し、それらの局をプリセットします。

重要 ●この機能を使うと、事前にプリセットされた局は全て、この機能にて自動的に受信した局に入れ替わります。

- 1 メインメニューにて FM ラジオモードにします。
- 2  キーを長押しします。
● FM ラジオメニューが表示されます。
- 3  または  キーを押して、「オートプリセット」を選び、 キーを押します。
● オートプリセットが始まります。
● 自動的にプリセット番号の P01 ~ P20 番まで登録されます。
● 受信できる放送局が 20 局以下の場合、受信できる放送局のみプリセットされます。

重要 ●プリセット機能を使う際も、イヤホンは接続しておいてください。イヤホンを接続しませんでしたら、FM ラジオを受信できなくなります。イヤホンがアンテナの役目をしています。

■ プリセットした局を聴く ■

- 1 メインメニューにて FM ラジオモードにします。
- 2  キーを長押しします。
● FM ラジオメニューが表示されます。
- 3  または  キーを押して、「登録したプリセット」を選び、 キーを押します。
● 登録(プリセット)されている局が表示されます。
- 4  または  キーを押して、受信したい局のプリセット番号を選びます。
- 5  キーを押します。
● FM ラジオメニューの表示に戻ります。
- 6 更に  キーを押し、FM ラジオモードに戻ります。
● 選んだプリセット番号の局(周波数)が表示されます。

ヒント ●表示部にプリセット番号が表示しているプリセットモードから周波数を変えるには、 または  キーを押してご希望の周波数へ変更してください。 または  キーを押すとプリセット番号は表示部より消えます。

プリセットした局を削除する

- 1 メインメニューにて FM ラジオモードにします。
- 2 ● キーを長押しします。
 - FM ラジオメニューが表示されます。
- 3 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「1つ削除」または「全て削除」を選び、● キーを押します。
 - プリセット 1 と周波数が表示されます。
- 4 「1つ削除」を選んだ場合、◀◀ または ▶▶ キーを押して、削除したい局のプリセット番号を選びます。
- 5 ● キーを押します。
 - 表示部に「はい」、「いいえ」と表示が出ます。
- 6 ◀◀ または ▶▶ キーを押し「はい」を選んで、● キーを押します。
 - 選んだプリセット番号の局を削除しないときは、◀◀ または ▶▶ キーを押し「いいえ」を選んで、● キーを押します。プリセット番号を選ぶ表示に戻ります。
 - 「1つ削除」を選んだ場合は、手順の 4 から 6 を繰り返して、他の局も削除できます。
 - 「全て削除」を選んだ場合は、◀◀ または ▶▶ キーを押し、● キーを押してください。「はい」、「いいえ」が表示しますので、削除する場合は、「はい」を選んで ● キーを押してください。どのプリセット番号を選んでも「はい」を押しますと全てのプリセット番号が削除されます。
- 7 元の FM 画面に戻るには、**Mu** キーを何度か押してください。

▶ 動画を見る



重要

- 本機で再生できる動画は、WMV または AVI ファイル形式のみです。
- 編集ソフトなどを利用して、データを変換してから本機にダウンロードしてください。ビデオとオーディオのコーデックの組み合わせにより、再生できないことがあります。

- 1 メインメニューにて ◀◀ または ▶▶ キーを押し、「動画」を選択します。
- 2 ● キーを押します。
 - 動画のデータリストが表示されます。



- 3 ◀◀ または ▶▶ キーを押し、再生する動画データを選びます。
- 4 ● キーを押します。
 - 動画の再生が始まります。

- 5 再生を一時停止するには、▶|| キーを押します。
 - 再生を開始するには、もう一度 ▶|| キーを押します。
- 6 再生を停止するには、M キーを押します。
 - 動画のデータリストが表示されます。
- 7 + キーまたは - キーを押し音量を調整します。
 - + キーを押すと、音量が大きくなります。
 - - キーを押すと、音量が小さくなります。
 - + キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
 - - キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 8 ▶▶ キーを押すと、次の動画データに移り再生を始めます。
 - ▶▶ キーを押し続けると、動画の早送りができます。
- 9 ◀◀ キーを押すと、前の動画データに移り再生を始めます。
 - ◀◀ キーを押し続けると、動画の早戻しができます。

- ヒント** ● 動画を作成する場合は、大きさを「160 × 128」にしてください。これよりも大きいサイズで作成した場合、再生できないことがあります。

▶ 写真を見る

- 重要** ● 本機で再生できる画像は、JPEG または BMP ファイルのみです。
● 容量の大きい写真データを再生しようとする場合とすると時間がかかる場合があります。

- 1 メインメニューにて ◀◀ または ▶▶ キーを押し、「写真」を選択します。
- 2 Ⓞ キーを押します。
 - 写真の再生方法がメニューとして表示されます。



- 3 ◀◀ または ▶▶ キーを押し、写真を再生させる方法を選びます。
- 4 Ⓞ キーを押します。
 - 「サムネイル」を選ぶと、写真データが小さな9画面で表示されます。
 - 「リスト」を選ぶと、写真データ名がリストで表示されます。
 - 「スライドショー」を選ぶと、写真データを順次自動で表示するスライドショーが始まります。
 - 「はじめから」を選ぶと、一番最初の写真データが表示されます。

- 5 ◀◀ または ▶▶ キーを押し、写真を選び、Ⓞ キーを押します。
- 「はじめから」を選んだ場合、◀◀ または ▶▶ キーを押すだけで、写真データが切り替ります。

- 6 再生を停止するには、**M** キーを押します。
- 写真の再生方法がメニューとして表示されます。

✓ **注意** ▶ ● 大きい画像が入っている場合、サムネイル、スライドショーを選ぶと、表示するまでに時間がかかることがあります。(ファイル容量が数 MB 以上のものなど)。

📎 **ヒント** ▶ ● 音楽を再生しながらでも、写真データは見ることができます。

▶ 録音する

本機の録音機能を使って、音声やFM ラジオ、外部オーディオ機器を録音元として録音することができます。本機の録音方法は次のようになります。

ボイスレコーディング：本機内蔵のマイクを使って、用件や会議の音声を録音できます。

ライン入力：本機LINE-IN端子と外部オーディオ機器を接続して、外部オーディオ機器からの録音ができます。

FM 録音：本機でFM放送を受信しながら、その内容を録音することができます。

! **重要** ▶ ● 録音を行う前に、FM ラジオの受信(P.31)や外部オーディオ機器との接続(P.44)を行ってください。

■ 録音の方法 ■

- 1 メインメニューにて、◀◀ または ▶▶ キーを押し、「録音」を選びます。
- 2 Ⓞ キーを押します。
 - 録音のメニューが表示されます。



- 3** ◀◀ または ▶▶ を押し、「録音設定」を選び、Ⓞ キーを押します。
● 録音設定のメニューが表示されます。
- 4** 録音元を選ぶために、◀◀ または ▶▶ を押し「ソース」を選び、Ⓞ キーを押します。
● 録音方法を選ぶソースのメニューが表示されます。
● 録音を詳細に設定するには、他のメニューを選んで設定を変更します。(P.57)
- 5** ◀◀ または ▶▶ を押し、録音元を選び、Ⓞ キーを押します。
● ボイスレコーディングを選ぶには、「ボイス録音」を選びます。
● ライン入力を選ぶには、「ライン録音」を選びます。
● FM 録音を選ぶには、「FM 録音」を選びます。
● Ⓞ キーが押されたときに、録音設定のメニューに戻ります。
- 6** **M** キーを押します。
● 録音のメニューが表示されます。
- 7** ◀◀ または ▶▶ を押し「録音開始」を選び、Ⓞ キーを押します。
● 録音が始まります。
- 8** 録音を止めるには、■ キーを押します。
● 録音のメニューが表示されます。
● 録音の一時停止・再開するには、▶▶ キーを押します。

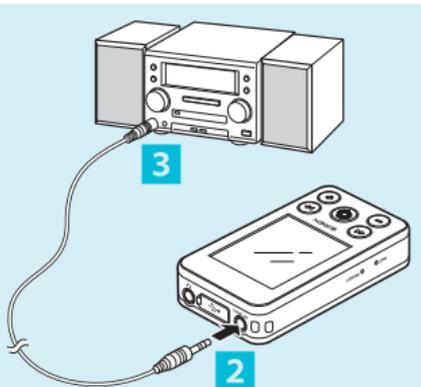
- ✓ **注意** ● 録音されたファイル名は、
V0001.WAV → F0002.WAV → L0003.WMA →
V0004.WAV → F0005.WMA → L0006.WAV
ボイス、FM ラジオ、ライン録音、それぞれ録音された順にファイル名がつきます。



- 録音されたファイルは、次のようなファイル名になります。
ボイスレコーディング：V000x.WAV
ライン入力録音：L000x.WAV、または L000x.WMA
FM ラジオ録音：F000x.WAV、または F000x.WMA
- 録音したデータも、音楽データと同様に色々な再生ができます (P.48)。
- 録音中は、自動的に電源が切れることはありません。
- 録音する形式を選べます (P.58)。選ぶ形式により、録音の音質や録音時間が変わってきます。但し、選ぶソース(録音元)により、選べる形式は違ってきます。
- 録音する品質を選べます (P.58)。選ぶ品質により、録音の音質や録音時間が変わってきます。但し、選ぶソース(録音元)により、選べる品質は違ってきます。
- ライン入力録音をしているときに曲ごとにデータを分けての録音はされません。1つのアルバムを録音すると、1つの音楽データとして録音されます。
- ライン録音中は、イヤホンからの出力はありません。録音音量の調整は、録音を開始する前に、イヤホンで出力を確認して、ライン入力元で音量を調整してください。

ライン入力の接続方法

- 1 接続をする前に本機とお使いになるオーディオ機器の電源を切ります。
- 2 ライン入力ケーブルと本機のLINE-IN 接続端子を接続します。
- 3 ライン入力ケーブルのプラグをお使いになるオーディオ機器のイヤホンまたはヘッドホン出力端子へ接続します。
- 4 本機とお使いになるオーディオ機器の電源を入れます。



- ✓ **注意**
- ライン入力端子に入力する音楽の音量が大きい場合は録音したファイル再生時にノイズが発生する場合があります。ノイズが発生する場合は、入力する音量を下げてから録音してください。
 - 市販のライン入力ケーブルを利用する場合は「抵抗なし」「ステレオ」のタイプをご使用ください。
- 📎 **ヒント**
- オーディオ機器のヘッドホン端子の形状が合わない場合は、市販の変換アダプターをご利用ください。

録音データを再生する

ボイスレコーディングやライン入力による録音、また FM 放送を録音したデータを再生します。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音データ」を選びます。
- 2 ⏻ キーを押します。
 - 録音されたデータのリストが表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、再生するデータを選び、⏻ キーを押します。

- ✓ **注意**
- WMA 形式で FM 録音またはライン録音した録音ファイルは、再生時に ◀◀または▶▶ キーの長押しで早送りまたは早戻しができません。WAV 形式で録音したファイルは、早送り、早戻しができます。
- 📎 **ヒント**
- 録音したデータも、音楽データと同様に色々な再生ができます (P.48)。
 - 録音されたファイルは、次のようなファイル名になります。
ボイスレコーディング：V000x.WAV
ライン入力録音：L000x.WAV、または L000x.WMA
FM ラジオ録音：F000x.WAV、または F000x.WMA

応用の操作

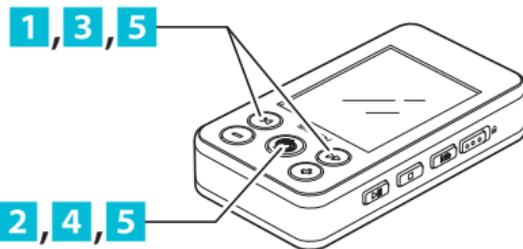
設定を変更するには

セッティングメニューを使うと、本機の再生方法や、音質などの様々な設定を変更できます。

ヒント ●セッティングメニューでは、縦に表示される項目は◀◀または▶▶キーを押して選びます。

再生モード	⇔	イコライザー	⇔	輝度	⇔
バックライトタイマー	⇔	オートオフ	⇔	言語設定	⇔
時間設定	⇔	初期設定に戻す	⇔	フォーマット	

セッティングメニューの操作



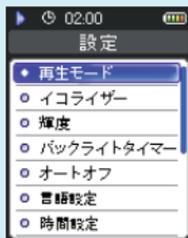
ヒント ●セッティングメニュー項目を選んで何も操作をしないと、元の表示に戻ります。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶キーを押し、「設定」を選びます。
- 2 ●キーを押します。
 - セッティングメニューが表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶キーを押し、設定を選びます。
- 4 ●キーを押します。
 - 選んだ項目の設定内容が表示されます。
 - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ場合があります。
- 5 ◀◀または▶▶キーを押し、項目を選び、●キーを押します。
 - キーを押すと、その項目が決定されます。
 - セッティングメニューに戻ります。
- 6 他の設定を行うときは、手順2から4を繰り返してください。

再生モード

音楽や録音したデータを再生する時に、色々な再生モードに変更できます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「再生モード」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 再生モード表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、好みの再生モードを選びます。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



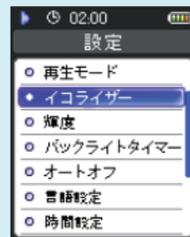
- ヒント**
- 再生中に表示されるマークと再生モードの関係は次のようになります
■ = ノーマル、■ = 1 曲リピート、■ = 全曲リピート、■ = ランダム再生
 - 再生中に、任意の区間を繰り返し聴きたい場合は、区間リピートの機能(P.24)をお使いください。
 - ランダム再生を選んで再生させた場合、再生される曲はランダムに再生しますが、一度再生した曲も再度再生する場合があります。
(該当している曲すべて、再生するときにランダムに選択するためです。)

イコライザー

この機能を設定すると、色々な音質で曲の再生が楽しめます。

イコライザーは、予め設定されている6種類のイコライザーから曲や好みにあった設定を選びます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ を押し、「イコライザー」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - イコライザーのアイコンが表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ を押して、設定内容を選びます。
 - 次の6種類のイコライザーが予め設定されています。
ノーマル、クラシック、Xbass、ジャズ、ロック、ポップ。
お聞きになる曲や好みに合わせてお選びください。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。

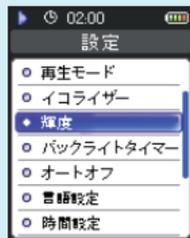


- ヒント**
- 再生中の表示とイコライザーの関係は次のようになります。
■ = ノーマル、■ = クラシック、■ = Xbass、
■ = ジャズ、■ = ロック、■ = ポップ

輝度

表示部の明るさを変更できます。

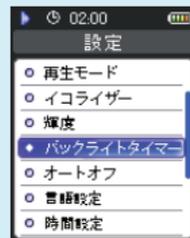
- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「輝度」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - パーセンテージが表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、輝度を調整します。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



バックライトタイマー

バッテリーの消費を節約するために、表示部のバックライトが点灯している時間を変更できます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「バックライトタイマー」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 「3秒」「5秒」「10秒」「15秒」「常にオン」が表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、バックライトが点灯する時間を選びます。
 - 「常にオン」を選ぶと、バックライトは点灯したままになります。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。

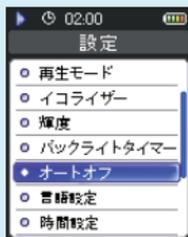


-  **ヒント**
- バッテリーの消費を節約する為に、バックライトの点灯時間は5秒に設定することをお勧めします。
 - バックライトタイマーで時間を設定している場合、録音中または充電中(ACアダプター)にバックライトが消灯します。点灯させたい場合は、本機のいずれかのボタンを押すとバックライトが点灯します。

オートオフ

電源を自動的に切る設定ができます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「オートオフ」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 「オフ」「1分」「2分」「5分」「10分」「15分」が表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、自動的に電源が切れるまでの時間を選びます。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



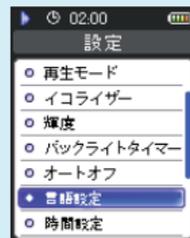
✓ **注意** ● オートオフ機能は再生中、録音中は働きません。

✎ **ヒント** ● 「オフ」を選ぶとオートオフは働きません。
● オートオフ機能は、停止状態(■)または一時停止状態(⏸)のみ作動します。

言語設定

メニュー画面を英語、日本語の言語で表示できます。

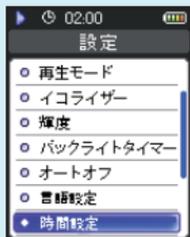
- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「言語設定」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押して、表示させる言語を選びます。
- 4 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



■ 時間設定 ■

本機の時計の時間を設定します。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「時間設定」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 「時」と「分」のメニュー表示に戻ります。
- 3 ◀◀または▶▶ キーを押し、設定する項目を選び、● キーを押します。
- 4 ◀◀または▶▶ キーを押し、時間または分の設定を変更します。
 - ◀◀または▶▶ キーを長く押し続けると、数値が速く変化します。
- 5 ● キーを押します。
 - 設定した時間や分に時計表示が変わります。

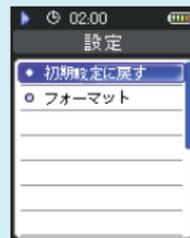


-  **ヒント**
- リセットを行うと、時間設定は 00 時 00 分に戻ります。
 - メニューの「フォーマット」、またはパソコンへ接続して、本機をフォーマットした場合も、時間設定はリセットされます。

■ セッティングメニューを初期状態に戻す ■

セッティングメニューを使って変更した設定を初期の状態に戻すことができます。

- 1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「初期設定へ戻す」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 「はい」「いいえ」が表示されます。
 - 「はい」を押すと、初期状態に戻ります。
 - 「いいえ」を押すと、初期状態には戻りません。
- 3 ● キーを押します。
 - セッティングメニューの表示に戻ります。



フォーマット

本機のメモリをフォーマットし、本機を初期状態に戻します。

重要

- フォーマットを行う前に、重要なデータはバックアップを取ってください。フォーマットを行うと全てのデータが消えてしまいます。

1 セッティングメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「フォーマット」を選びます。

2 ● キーを押します。

- 「はい」「いいえ」が表示されます。
- 「はい」を押すと、再度「はい」「いいえ」が表示されます。フォーマットをする場合は「はい」を押してください。
- 「いいえ」を押すとフォーマットは行われません。

3 ● キーを押します。

- セッティングメニューの表示に戻ります。



注意

- パソコンを使ってマイコンピュータ上またはエクスプローラ上でフォーマットを行う場合、「ファイル システム」として「FAT」を選んでください。「NTFS」を選んだ場合、本機の使用ができなくなります。

録音の設定を変更する

録音設定の変更方法

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音」を選びます。
- 2 ● キーを押します。
 - 録音のメニューが表示されます。
- 3 ◀◀または▶▶ を押し、「録音設定」を選び、● キーを押します。
 - 録音設定のメニューの「ソース」、「形式」、「サンプリングレート」、「ビットレート」が表示されます。
- 4 ◀◀または▶▶ を押し、設定を変更する項目を選び、● キーを押します。
 - 「ソース」を選ぶと、録音元を変更できます。
 - 「形式」を選ぶと、録音する形式を変更できます。
 - 「サンプリングレート」を選ぶと、録音するサンプリング周波数を変更できます。
 - 「ビットレート」を選ぶと、録音するビットレートを変更できます。
- 5 ◀◀または▶▶ を押し、選んだ項目の値や設定を選び、● キーを押します。
 - 録音設定のメニューが表示されます。
- 6 他の項目の値を変更する場合は、手順4～5を繰り返します。

ヒント

- 録音元として選ぶ項目より、設定できる内容が違ってきます。詳細は「録音設定について」(P.58)をご覧ください。

録音設定について

ボイス録音設定を選んだ場合

- 内蔵マイクを使ったボイスレコーディングの録音設定になります。
- 録音形式は、次の3種類から選べます。
IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-AD PCM、PCM = PCM。
- 録音データは、WAV 形式になります。
- サンプルレイトは、次の7種類から選べます。
8000Hz、11025Hz、16000Hz、22050Hz、32000Hz、44100Hz、48000Hz。
- ビットレイトは、選択できません。

ライン録音設定を選んだ場合

- ライン入力の録音設定になります。
- 録音形式は、次の4種類から選べます。
IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-AD PCM、PCM = PCM、
WMA = Windows Media Audio。
- 録音データは、WAV または WMA 形式になります。
- サンプルレイトは、WAV 形式を選んだ場合、下記から選べます。
8000Hz、11025Hz、16000Hz、22050Hz、32000Hz、44100Hz、48000Hz
WMA 形式の場合は、44100Hz 固定となります。
- ビットレイトは、WMA 形式を選んだ場合、次の5種類から選べます。
64kbps、80kbps、96kbps、128kbps、160kbps
WAV 形式は、固定となります。

FM 録音設定を選んだ場合

- FM ラジオの録音設定になります。
- 録音形式は、次の4種類から選べます。
IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-AD PCM、PCM = PCM、
WMA = Windows Media Audio。
- 録音データは、WAV または WMA 形式になります。
- サンプルレイトは、下記の1種類の固定となります。
(WAV および WMA 形式)
44100Hz
- ビットレイトは、WMA 形式を選んだ場合、下記の5種類から選べます。
64kbps、80kbps、96kbps、128kbps、160kbps



ヒント

- 本機で作ったデータをパソコンや他の機種で再生する場合、その機種が再生できるデータ形式やフォーマットにする必要があります。
- サンプルレイト、ビットレイトの設定時  キーを押しても変わらない場合は、設定が固定になっています。

▶ ナビ機能を使う

ナビ機能を使って音楽データや録音データを選んで再生したり、パソコンを使わずにデータを削除できます。

重要 ●一度削除したデータは復帰させることができません。

1 メインメニューにて、◀◀または▶▶キーを押し、「ナビ」を選びます。



- 2** ●キーを押します。
●ナビのメニューの「音楽」、「動画」、「録音」、「写真」、「全て」が表示されます。
- 3** ◀◀または▶▶を押し、データの種類を選び、●キーを押します。
●選ばれたデータのリストが表示されます。
- 4** ◀◀または▶▶を押し、データを選び、●キーを長押しします。
●「再生」、「削除」、「キャンセル」が表示されます。

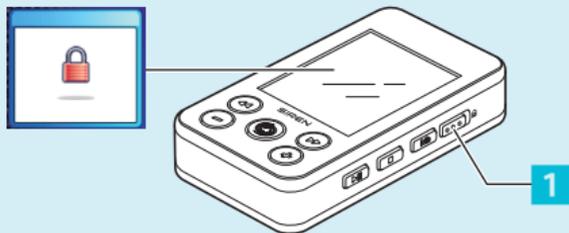
- 5** 項目を選び、●キーを押します。
- 「再生」を選ぶと選んだデータが再生されます。
 - 「削除」を選ぶと、「はい、いいえ」が表示されます。削除して良い場合は、「はい」を選んで、●キーを押します。削除しない場合は、「いいえ」を選んで、●キーを押します。
 - 「キャンセル」を選ぶと、データのリスト表示に戻ります。
 - データの再生を止めると、各モードのメニュー表示に戻ります。

▶ 間違ってキーを押さないために

■ ホールド機能について

ホールド機能を使うと、本機のキー操作を使えなくすることができます。誤ってキーを押してしまうことを防ぎたいときにお使いください。

- 1 ホールド(🔒)キーを右側にスライドさせます。
 - 鍵のかかったイラストが表示された後、ホールドキー以外のキーは使えなくなります。
 - 本機がホールド状態のときは、表示部に「🔒」が表示されます。



- 2 ホールド機能を解除するには、ホールド(🔒)キーを左側にスライドさせ元に戻します。

-  **ヒント** ● 本機を衣服や鞆などの中に入れてご使用の際に、接触によりキーが押されて作動してしまう可能性があります。衣服や鞆などに入れてお使いの際は、必ずホールド状態にしてください。

▶ ファームウェアのアップグレードについて

ファームウェアをアップグレードすることで、機能を追加したり、より使い易くすることができます。

-  **注意** ● アップグレードを行う前に、下記の説明をお読みください。手順通りに行わない場合、本機が動作不能になる場合があります。なお、最新のファームウェアは、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] からダウンロードしてください。
- ファームウェアをアップグレードする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

■ ファームウェアのアップグレードの準備

- 1 SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] より、本機のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードしてください。
 - ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと本機のファームウェアを書き換えするためのプログラムなどが一緒に圧縮された状態です。
 - デスクトップ上にダウンロードすると、ダウンロードした後にデータが探しやすくなります。
- 2 ダウンロードしたデータをダブルクリックします。



DP350FIRMxxx.exe

- データの解凍が始まります。

3 データの解凍が始まると解凍先を聞いてきますので、デスクトップを指定します。

- デスクトップにファームウェアのフォルダーが解凍されます。

4 解凍されたフォルダーをダブルクリックして開いてください。

- フォルダーが開きます。

5 付属の USB ケーブルをパソコンの USB ポートを接続してください。

- この時は、まだ本機と USB ケーブルを接続しないでください。

- 注意** ● 本機とパソコンは、ファームウェアのアップグレードの準備の間は接続しないでください。またパソコンと接続するときは、ファームウェアのアップグレード方法に従って接続してください。

ファームウェアのアップグレード方法

本機はリカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレード行ってください。

- 注意** ● ファームウェアのアップグレードは、Windows Me では行えません。Windows 2000、XP または Vista で行ってください。

1 本機の電源を切ります。
● 「電源が入らない」などの不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分らない場合は、本体の強制リセットを行ってください。

2 **M** キーを押すと同時に、パソコンの USB 端子で接続された USB ケーブルへ接続してください。

そのままの状態でも 10 秒以上 **M** キーを押した状態にしてから、**M** キーを離してください。

- 本体の LCD が点灯した場合は、リカバリーモードに入っていません、再度 1 項からやり直してください。

3 「setup.exe」をダブルクリックしてください。

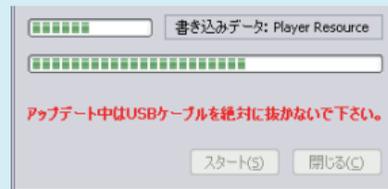


- ファームウェアの書き換えプログラムが起動します。



- ヒント**
- ここでのプログラム名やファイル名または各表示は、改良のため予告無く変更されることがあります。また、一部の表示は取扱説明書中において読みやすくするために、文字を大きくしている箇所があります。

- 4 「データ領域のフォーマット」欄にチェックマークを入れてください。
 - ファームウェアの書き換え時はすべてのデータをリセットするため、保存しているデータもフォーマットする必要があります。
 - マークを付けなかった場合、データの領域のフォーマットをするようにメッセージが表示します。
- 5 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。
 - ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して本機が動作しなくなることがあります。
 - ファームウェアの書き込み状況は、下段2つのバーにより確認できます。



6 ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- ファームウェアの書き込みが完了すると、下段2つのバー表示が右まで一杯になります。また「アップデート中はUSBケーブルを絶対に抜かないで下さい。」の表示が消えます。



7 全ての作業が終了していることを確認してから、「パソコンとの接続と切り離し」の手順(P.15～P.17 参照)に従って、本機をパソコンから取り外してください。

■ ファームウェアのバージョンを確認 ■

本機ファームウェアのバージョンを確認するには以下の方法で確認してください。

本機表示部で確認する

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「情報」を選び、⊙ キーを押します。
 - ファームウェアのバージョン、メモリ容量と残メモリー量が表示されます。



- 2 メインメニューに戻るには、M キーを押します。

その他

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症状	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーの残量がなくなっている場合があります。充電してください。
イヤホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● イヤホンが奥まで挿し込まれているか確認してください。● 音量が最小になっていないか確認してください。● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。● イヤホンジャックに何か詰まっていますか、またイヤホンジャックはきれいですか。● ダウンロードしたデータ形式は正しいですか。
表示が正しくない	<ul style="list-style-type: none">● 表示したい言語とデータ内文字データ (ID3 タグ) が正しく合っていますか。● 本機では取り扱えない、データ内文字データ (ID3 タグ) ではないですか。
データのダウンロード・アップロードがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが残量がなくなっている場合があります。充電してください。● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、USB ケーブルが切断などされていないことを確認してください。● 本機のメモリーが不足状態になっていませんか。不要なデータは削除してください。

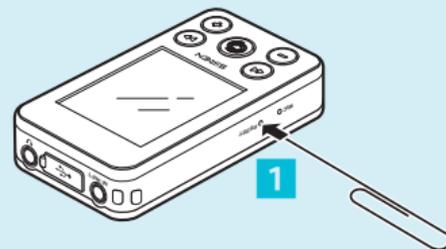
前記の表をご覧になっても問題が解決されない場合は、SIREN Web サイト (www.sirenjp.com) をご参照ください。

弊社 Web ページの「Support (サポートセンター)」にある「FAQ (よくある質問と答え)」ページでは、皆様からお寄せいただいたご質問とその回答を紹介しております。一般的な問題やご質問の多くは FAQ の情報で解決できますので、ぜひご参照ください。

FAQ をご覧になっても問題が解決されない場合は、下記に従い本機をリセットすることをお勧めします。

■ 本機のリセット方法 ■

- 1 リセットスイッチをゼムクリップなどを利用して押します。



本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

<http://www.sirenjp.com/support/otoiawase.php>

■ サポートセンターへのお問い合わせ方法 ■

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP350」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式(WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名(RealOne、WMPなど)
- 具体的なお問い合わせの内容
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよびCPUの名前)
- OSの種類とバージョン

その他

お問い合わせ先

Web ページアドレス：<http://www.sirenjp.com/support/otoiawase.php>

電子メール：support@sirenjp.com

電話：**0570-001-606**

受付時間：平日(月曜～金曜)

午前 9:30～午後 9:30

※ IP 電話、PHS 電話では繋がりませんので、一般の電話か携帯電話でお掛けください。

■ 最新情報について ■

DP350 の最新情報に関しては、上記弊社 Web サイトにてご覧ください。

■ 製品の修理／交換について ■

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をすることなく解決できる場合がございます。

その他

修理・交換の手順

1. お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
2. サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
3. 修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号(RMA番号)と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。
4. 不具合品を弊社指定先へ返送整理番号(RMA番号)を記載してご返送ください。
5. 弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理品または交換品を発送いたします。

重要 ●修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承ください。

サポートセンターからご案内する返送整理番号(RMA番号)の無い返送品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。

製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明が必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印してもらるかそれらが記入されたシールなどをもらってください。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状なども購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間中でも無償修理または交換が受けられません。詳しくは保証規定をご参照ください。

